

平成30年2月28日

## 【研修報告】

中京大学主催「中京大学2017年度FDシンポジウム」の講師派遣を行いました。

日 時：平成30年1月22日（月）16:00～18:15 [交流会18:30～19:10]

会 場：中京大学 名古屋キャンパス 清明ホール

講 師：中井俊樹先生（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）

（そのほか事例報告者として中京大学学生及び教員による事例報告が2件）

参加者：97名（関係者を除く。）

（概要）＜主催大学作成＞

中京大学は、2017年度FDシンポジウムを「アクティブラーニングとは何かー理論と実践から学ぶー」をテーマに開催し、中井俊樹愛媛大学教授による基調講演や本学学生等による事例報告が行われ、97名の参加者があった。

中井俊樹教授（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）による基調講演では「アクティブラーニングとは何かー実践方法と課題」と題し、アクティブラーニングに関する基礎的な知識や考え方、アクティブラーニングにおける課題、授業での学生の反応などについて具体例をあげながら説明があった。教員に対しては、何か取り入れられるところ、役に立てることがあればと、いくつかの代表的な実践方法が提供された。

事例報告には本学の工学研究科、経営学部の学生と教員が登壇し、学外連携プロジェクトへの参画を通じた学びについて報告があった。

事例報告後、基調講演者の中井教授から、それぞれの事例についてコメントや示唆があり、また、参加者からアクティブラーニングの推進方法についての中井教授への質疑応答が行われた。

シンポジウム終了後、中井教授を囲んで、約40人が参加者したノンアルコールによる情報交換会を開催し、さらに個別の意見交換を実施した。

なお、参加者へのアンケートでは、基調講演の内容に関して、96%が肯定的に答えた。

「今回の基調講演で、能動的学習（アクティブラーニング）についての理解が深まりましたか。」（回答数75）

- (1)まったく思わない（0：0%）
- (2)思わない（0：0%）
- (3)どちらともいえない（3：4.0%）
- (4)思う（58：77.3%）
- (5)強く思う（14：18.7%）



写真1：FDシンポジウム（基調講演者）



写真2：FDシンポジウム（会場全景）